地域包括支援センターだより

9月は「世界アルツハイマー月間」です

国際アルツハイマー病協会が、世界保健機関と共同で毎年９月21日を「世界アルツハイマーデー」、９月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界中で認知症への正しい理解が進むように、啓発活動が行われています。

伯耆町でも、多くの方に認知症への関心と理解を深める機会となるよう、認知症に関する特設展示とイベントを開催します。みなさんのご参加をお待ちしています。

特設展示

期　間：9月1日(金)～ 9月29日(金)
ところ：溝口図書館・岸本図書館・パルプラスオン・大山リゾートウェルカムオフィス

各地イベント

ところ	パルプラスオン	大山リゾートウェルカムオフィス	溝口公民館
と　き	9月15日（金）	9月22日（金）	9月20日（水）
	10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 15:00		10:30 ～11:30
内　容	認知症予防におすすめの料理試食会（11:00 ～12:00） もの忘れミニ相談・脳の健康度チェック（タッチパネル検査） ペーパークラフト作成・脳トレ問題集の配布等		「あたまイキイキ音読教室」 認知症の方のご家族が書いたメッセージの音読を予定しています。

問い合わせ先　健康対策課 生活相談室　TEL 0859-68-5535

合言葉は おたがいさま vol.25

生活支援コーディネーター本田の支え合い活動レポート

7月12日（水）、ふれあいクラブ伯耆（伯耆町老人クラブ連合会）の単位クラブ会長会兼支え合い研修会が鬼の館で開催され、研修会では伯耆地域包括支援センターの後藤社会福祉士が「地域での支え愛・助け合い体制づくり」というテーマで話されました。少子高齢化が進展している中、誰もが住み慣れた地域において生き生きと暮らし続けるためには、行政からの支援以外に地域住民の互助による支え合い・助け合い活動も大切になります。

伯耆町では、私を含め２名の生活支援コーディネーターが、「地域」で「支え合い」「助け合い」を「推進」するために活動し、地域の皆さんと一緒に取り組みを進めています。

皆さんのお住まいの地域でも、誰もが安心して暮らし続けていけるよう、住民互助による、健康寿命の延伸のための活動や、住民同士が気にかけあう関係づくりや体制づくり等に取り組んでいきませんか。生活支援コーディネーターまで気軽にお声掛けください。合言葉は“おたがいさま”です。

本田　典子

問い合わせ先　健康対策課　生活相談室　0859-68-5535

SERIALIZATION 連載